

## はしがき

本センター研究部長天野郁夫教授を代表者とする「大学・地域交流研究会」は、平成8年以來、国立大学と地域社会の関係の実態把握と問題点の解明を目指して調査研究を進めてきた。七つの大学を対象とする、交流実態調査、教員に対するアンケート調査、大学所在県の有識者に対するアンケート調査と新潟県に絞った私学を含む事例調査である。それぞれの調査研究の成果は、これまで、国立学校財務センター研究報告第2号から第5号まで4次にわたり発表され、高く評価されているところである。

このたびの「国立大学の構造分化と地域交流」は、これまでの報告にまとめられた研究成果と、調査研究を通じて深められた研究会メンバーの知見を活かして、最終的な成果のとりまとめを行ったものである。

第Ⅰ部「国立大学の構造分化」、第Ⅱ部「国立大学と地域交流」、いずれも研究会における研究の蓄積を反映して充実した内容となっており、とりまとめに当たられた研究者各位に深く敬意を表したい。

また、6年間にわたり、本調査研究の実施と成果の取りまとめに当たられた、天野研究部長を中心とする研究者のご努力と関係各位のご協力に、改めて深く感謝申し上げる次第である。

法人化を前にした国立大学が、目標、針路の再設定と、その中での地域社会との関係の再構築を進めるに際して、本報告書をはじめとする一連の研究成果が、関係各位のなんらかの御参考になれば幸いである。

平成14年3月

国立学校財務センター所長

大崎 仁